

★天白を元気にする情報紙★

ばわわ

第5号


2005年6月1日(水) 第5号

●発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
 ●編集 天白区社会福祉協議会情報紙「ばわわ」編集委員会
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階
 ●発行部数 62,000部 年4回発行(平成17年度 6月・9月・12月・3月発行)
 ●記事・広告掲載についてのお問い合わせ
 TEL 052-809-5550 FAX 052-809-5551
 E-mail tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp ホームページ http://www.tenpaku-shakyo.com

情報紙「ばわわ」へのご意見、ご感想もはがき・FAX・メールにて受け付けています。

ばわわとは? 天白を元気にする**パワー(力)**と**地域をつなげるわ(輪)**になりたい。そして**和み**。そんな思いがひとつになって **ばわわ** と名づけました!!

視覚障害その他の理由で活字のままに読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



子どもから高齢者、障害児・者みんなと一緒にふれあいましょう!

第21回天白区福社区民のつどい開催!!

6月12日(日) 午前10時～午後3時(少雨決行) 区民まつりと同時開催
 会場/天白公園・生涯学習センター



木工製品・フローチ・クッキー等、福祉施設などでつくられた製品(授産製品)の即売。

福祉体験とゲームのコーナー
 「福祉体験とゲーム」のコーナーは、車いすに乗りたり押ししたり、手話や点字を体験したり、障害者とジャンケンゲームを楽しんだり、みんなと一緒に福祉体験するコーナー。



生涯学習センター1F

ふれあいコーナー
 遊びと休憩のコーナー。体育室におもちゃがたくさん! 手作りのおもちゃと一緒に作るコーナーもあります。休憩コーナーには福祉施設・団体の創作作品の展示、力作が一杯! 天白公園の広い会場に歩きつづければ癒しの空間にどうぞ。

- 呈茶コーナー.....(ロビー)
- 子育て情報コーナー.....(ロビー)
- おむつ替えコーナー
- 授乳コーナー.....もあります!

- 聴覚障害者「早川さんのマジックショー」.....(午後1:00~予定)
- 「エコ・アンサンブルによるコンサート」.....(午後1:30~)
- ふれあい囲碁のコーナー

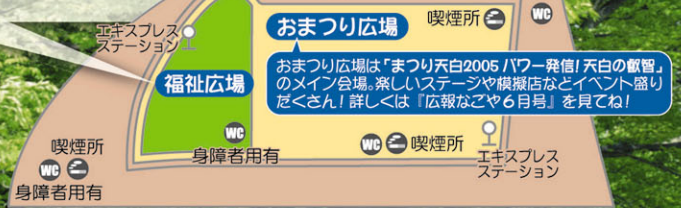


風船がもらえるよ!
 ※風船はなくなり次第終了します。

目の不自由な方も映画を楽しんで!
 視覚障害の方にも映画を楽しんでもらえるように、画面の進行や字幕を同時通訳するシーンボイス。ふれあいコーナーには、このシーンボイスを体験するコーナーもあります。(午前10:30~・午後2:30~)

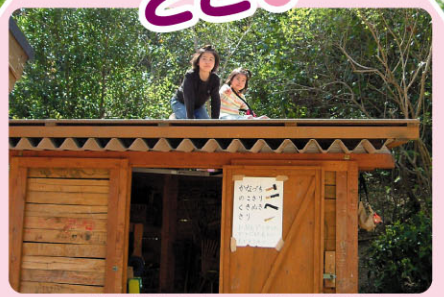
ミニステージ
 みんなと一緒に手話コーラスやママツケンサンバ! 福祉団体のパフォーマンスなど。
 詳しくは4ページのふれ愛ネット天白のコーナーを見てね!

福祉広場



おまつり広場 喫煙所 WC
 おまつり広場は「まつり天白2005 パワー発信! 天白の興奮」のメイン会場。楽しいステージや模擬店などイベント盛りだくさん! 詳しくは「広報なごや6月号」を見てね!

ここはどこ?



ここは福社区民のつどいが開かれる天白公園のある場所です。さあ、どこかわかるかな? <答えは、3ページ!>

天白区福社区民のつどいは、区内の障害のある方やその家族、ボランティア、福祉施設の方を中心に毎年企画して開催しています。

知っぴゃ〜あか 第5回

マジックに情熱をかたむける 聴覚障害者 早川 八州男さん【63歳】 退職後のライフスタイルは“出張マジックボランティア” 子どもたちのキラキラした、 驚きのまなざしをそそがれることがとてもうれしい!

還暦を過ぎた今でも、マジックに情熱をかたむける聴覚障害者の早川八州男さん。福祉区民のつどいなどのイベントや福祉施設、幼稚園、子ども会、カラオケ屋など人が集まる場所ならどこへでも出向きマジックを披露しています。幼いころから耳が聞こえないハンディがありました。見よう見真似で大好きなマジックを覚え、聾学校の中学部卒業のお別れ会ではみんなの前で披露！みんなの反応はいま一つでガッカリしましたが、その後も好奇心が衰えることはありませんでした。

「今では歳を重ね経験も豊かになり、また社会の理解も得られていると感じているので、特別に『聴覚障害』を意識することはない。」と話してくれる早川さんですが、若いころは仕事で残業を強いられているのでは、差別的な扱いを受けているのではと感じることが多々あったとのこと。朝早くから夜遅くまでの仕事では、思うようにマジックの練習もできませんでした。



子どもたちもマジックに興味津々。(昨年の福祉区民のつどいにて)

それでも、居酒屋などでマジックを披露して、みんなの驚いた顔や喜び顔を見ると自分もうれしくなり、ますます張りきって練習！今では、数え切れないくらいのネタを持ち、家の中は衣装や道具でいっぱい。奥さん、旦那さんがこれだけマジックに熱中していると、仕事の休みの日にどこにも連れて行ってもらえませんか？」と聞いて

みると「いいえ、買い物にも一緒に行きますよ！」とうれしそうに話してくれました。奥さんは一番の理解者であり、いつもあたたかく見守っているようです。

マジックをする時にハンディを感じることは「次のマジックは〇〇です」と説明したい時にうまく伝わらないこと。一人で披露している時は「手話通訳の方がいてくれたら…」と思うそうです。それでも「マジックのネタを自分なりに勉強して工夫したものを、みなさんの前で披露することが今一番の楽しみ。特に子どもたちからキラキラした驚きのまなざしをそそがれることがとてもうれしい！」と生き生きとした表情で話してくれました。



マジック披露中の早川さん

6月12日(日)の天白区福祉区民のつどいでは、手話通訳者と一緒に午前10時45分から、福祉広場のミニステージでマジックを披露してくれます。また、昼から(午後1時～(予定))は生涯学習センター「ふれあいコーナー」にも登場！みなさん素敵な笑顔の早川さんに会いに来てくださいね。



早川さんへのインタビューは、手話通訳の方に手話・筆談・口話を交えながら通訳していただきました。(by O)

ぱわわ 地域情報

消費者と生産者が顔見知り！
安心・安全な食生活はここから

JA天白グリーンセンター

区内のあちこちで地元の農産物を直売する、朝市・青空市が開かれています。その中の一つ、『JA天白グリーンセンター』では、地元の生産者がとれたての野菜や漬物、生花などを販売しています。店内は、若い人から年配の人まで幅広い年齢層のお客さんでいっぱい。「新鮮で長持ち、おいしい！」と、たくさんの商品を両手に抱えています。なかには、飲食店の方も。商品には生産者の名前が書いてあるので、お目当ての生産者の野菜を買いに来る常連さんもいます。「今日は〇〇さんのはないの?」「今度トマトはいつ入るの?」ほしい商品を生産者に直接伝えることができるのも朝市のいいところです。



同じ商品がいつもあるわけではありませんが、人気商品はあっという間に売り切れてしまいます。みなさんもちょっと早起きして、お近くの朝市をのぞいてみてください！栄養満点、地元のとれたて野菜を食べてみませんか？

JA天白グリーンセンター

TEL/052-807-7911
住 所/天白区島田2-710(天白区役所東)
開催日/月～金曜日
時 間/8:30～14:00(5～10月)
9:00～14:00(1～4月)
※収穫状況により、営業日・時間が変更になる場合がございます。



知っていますか?「地産地消」

「地産地消」とは「地元で生産された農産物を地元で消費すること」です。生産地が消費地である「地産地消」の良い所は、「安全な食べ物を安心して買うことができる」「消費者のニーズを直接生産者に伝えることができる」「地域の伝統文化や食文化を伝えることができる」などたくさんあります。名古屋は大消費地！地元の農産物を地元で消費すれば、消費・生産とも拡大します。



★天白といえば「天白人参」。甘味のある天白人参は、人参嫌いの子供たちにも好評！生で食べてもおいしいそうです。根つき・土つきのねぎが買えるのも産直ならでは！これからも、梅、かぼちゃ、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも、レタスなど、旬のとれたて新鮮野菜がどんどん出てきます。また、「豊明の卵」は、お買い得の人気商品。開店直後がねらい目です！

ぱわわ 私流! な子育て

私と子どもの新生活



子どもの保育園生活が4月から始まりました！仕事は前働いていたときと同じ医療系ですが、まるっきり別分野なので覚えることが多いです。娘は託児つき講座やサークルなどに参加していたので、他の子に比べれば集団に慣れているはずだと思っていました。しかし、あまり関係なかったみたいで…。入園直前から甘えが勃発！お迎えに行ったときに泣かれたり、ズル休みしたことも。少し困りましたが、これも今だけ限定の「不安の現れ」だと思い、大きな心で受け止めるように努力しました。その甲斐あってか、今は保育園を楽しんでるみたいです。ただ、毎日の朝は大変化！出社に合わせた早朝保育タイムの通園で大忙しです。でも仕事が終わってからお迎えの時間までに1時間くらい自分の時間もあるので、なんとかこれを有意義に過ごしたいと思っています。(byみとりん)

保育園の送り迎え、どうしても仕事の都合で間に合わない!?そんな時のために名古屋市の「のびのび子育てサポート事業」を利用してみたいのですが、事務局及びお近くの保育所でも受け付けています。詳しくは、なごや子育て情報プラザ内「名古屋のびのび子育てサポート事務局」まで。

☎052-839-5576 (火～日/AM9:00～PM5:00)

天白で元気に子育てしているみなさんからのホットな情報、エピソードなどお待ちしております。あなたの「私流! ぱわわな子育て」を投稿してください！

介護や高齢者の生活に役立つ情報やヒントが満載のコーナー

介護のヒント・お悩み相談室

Q 私80歳・夫83歳二人で生活しております。最近二人とも腰痛など体調が悪く家事が思うようにできません。二人で協力して何とか生活していますが、この先が不安です。



A 「高齢者福祉なんでも相談所」にまず相談!

高齢夫婦で支え合っている場合、歯車がくるといろいろなところに支障が出てくる場合があります。状況にあったサービスをどのように利用したらよいか、まずは『高齢者福祉なんでも相談所』に相談してください。

今回のケースですが、介護保険の申請はしましたか? 介護保険の認定を受けている場合、ヘルパーなどのサービスが利用できます。申請をしたものの非該当となった場合でも『自立支援訪問事業』を利用して、週に2時間ヘルパーを利用する方法もあります。

まだ介護保険の申請をしていなくても急な病気や怪我などで、すぐにでもお手伝いが必要な場合には、有償でヘルパーや配食のサービスを提供している事業所があります。

どのケースにあたるか、個々の状況によっても違いますので、どうぞ高齢者福祉なんでも相談所にお気軽にお問い合わせください。相談は無料! もちろん個人情報など相談内容の秘密は厳守しますので安心してご相談ください。



このコーナーでは、みなさんから寄せいただいた質問にお答えします。介護の悩みや介護の方法、各種サービスの利用方法など、疑問や質問をお寄せください。あなたの悩みや不安を解決するヒントを一緒に探しましょう!

天白区社会福祉協議会内
天白区在宅介護支援センター(高齢者福祉なんでも相談所)
☎052-809-5555

この指とまれ! ★ボランティア情報★

天白区福社区民のつどい ボランティア募集!

6月12日(日)に開催される「福社区民のつどい」を一緒に盛り上げてくれるボランティアを募集します。

- 〈前日準備のボランティア〉
 日時：平成17年6月11日(土)
 時間：午後3時～
 主な内容：会場準備等
- 〈当日のボランティア〉
 日時：平成17年6月12日(日)
 時間：9時～16時30分頃
 (午前または午後みの活動可)
 主な内容：会場設営・駐車場整理・受付・募金活動の手伝い(着ぐるみ等)・福祉体験やゲームコーナーの手伝い・障害者の参加補助など

- 募集対象：年齢・性別不問
- 会場：天白公園及び天白生涯学習センター

夏祭りボランティア募集!

福寿荘の夏祭りを一緒に盛り上げていただけるボランティアを募集しています。

- 日時：平成17年7月23日(土)
- 時間：15時～20時30分
- 場所：知的障害者更生施設(入所)福寿荘 天白区平針黒石2878-354(平針運転免許試験場から歩いてすぐです!)
- 内容：夏祭りの会場準備、後片付け、夜店の手伝い、利用者とのふれあい
- 募集対象：年齢性別不問
- 問合せ：福寿荘 ☎805-3046

「ここにこ広場」のお手伝いボランティア募集!

天白子ネットが毎月1回開いている乳幼児の親子のおしゃべり場で、お子さんの遊び相手やお世話などをしていただけませんか? 資格の有無は問いません。

- 開催日時：毎月1回火曜日
- 時間：10時～12時(原則)
- 場所：天白区池場4-1011 OKハウス
- 天白子ネット：区内の子育て関係のグループのネットワークです。子育ての情報発信や交流の場を設けています。



★ボランティアセンターもご存知ですか?★

ボランティアに関する講座や研修は、何があるのを知りたい

ボランティアに関する疑問・質問がありましたら、天白区社会福祉協議会ボランティアセンターまでご相談ください。

TEL 809-5550/FAX 809-5551

センターでは、ボランティアに関する様々な情報をお伝えするとともに、ボランティアをしたい方と、してほしい方をつなぐコーディネート業務も行っておりますので、ご希望がありましたらお気軽にご相談ください。また、ボランティア登録をしていただくと情報を随時お送りします。

ボランティアしていただける方はいないかな?

ボランティア保険のことについて知りたい

ボランティアをしてみたいけど、どんな活動があるのかな?

ここはどこ? 答え



正解は「てんぱくプレーパーク」。天白公園のほぼ中心の山の一角にあります。「自分の責任で自由に遊ぶ」「ケガと弁当は自分持ち」をモットーに、子どもが自由に遊べる冒険遊び場です。市内では、天白公園だけにあります。のこぎり等の工具を使っていろんなものを作ったり、山で秘密基地ごっこをしたり、公園の自然や地形を生かして、小さい子から大人まで自由に遊んでいます。大きな縄ブランコや、落ち葉すべり台も大人気。プレーリーダーが常駐して、遊びを見守り、ケガがおきたときなど不測の事態に対応しています。地域住民らがこの山の公園愛護会として活動し、プレーパークの環境整備にあたっています。



原則として、火～金曜日 10:00～17:00開園、無料。
 ※5/10～9/10の期間は
 火・木 13:00～18:00、
 水・金 10:00～18:00

ふれ愛ネット天白

2005年6月1日発行
第5号
ふれ愛ネット天白事務局
/天白区社会福祉協議会
TEL052-809-5550
FAX052-809-5551

行ってみよう! 見てもよ! & 体験してみよう!

交流見学会に参加して

毎年ふれ愛ネット天白では、区内の福祉施設や障害者団体及びボランティア活動団体等の活動内容を実際に見学し、体験してもらう「交流見学会」を開催しています。平成16年度下半期（H16年11月～H17年3月）には、区内の施設や団体等9ヶ所で延べ28名の方が参加されました。

福祉団体の職員の丁寧な説明に、参加者からも「天白区在住ながら、地域の教育・福祉施設を知らなかったの、その存在を知ると共に、知的障害児(者)の日常にふれる事が出来て良かった。」「デイサービスの利用者が楽しそうに色々な事をしている様子がとても印象的だった。」など熱心に見学していました。

平成17年度

ふれ愛ネット天白「交流見学会」

ふれ愛ネット天白では、平成17年度も引き続き交流見学会の開催を企画しています。交流見学会の情報は、決定したい天白区社協ホームページ (<http://tenpaku-shakyo.com>) などに掲載します。詳しくは事務局の天白区社会福祉協議会「交流見学会」担当までお問い合わせ下さい。

福社区民のつといのミニステージは、みんなで一緒に楽しむステージ!!

6/12(日)

午前10時～午後3時
(少雨決行)
会場●天白公園

マツケンサンバIIを踊りましょう!

「マツケンサンバIIを踊りましょう!」では、飛び入り参加大・歓・迎! キラキラ・ラメラメのお侍・腰元あり。はたまた、あなたが日頃あこがれのコスチュームに身を包みあなたをPRしてください。

音楽が始まったらミニステージ前に全員集合!



ミニステージ 天白公園「福祉広場」特設ステージ

- 10:05 希望荘の踊りと太鼓 (知的障害者更生施設)
- 10:25 和太鼓演奏 (知的障害者小規模通所通所授産施設 共同作業所ほっと)
- 10:45 楽しいマジックショー (聴覚障害者早川さんによるマジックショー)
- 11:15 福祉ファッションショー (洋服教室ファッションやまね・la.tricot・天白区在宅介護支援センター)
- 11:45 福祉平針八千代会による民謡
- 12:30 ガイドヘルプって何? (視覚障害者ガイドヘルプ実演)
- 12:45 Shall We Dance!! (重度心身障害者小規模通所施設 まつぼっくりの家)
- 13:00 みんなで一緒に手話コーラス! (ありがとうのうたV6)
- 13:30 マツケンサンバIIを踊りましょう!



一緒に手話コーラスをしてみよう!

13:00～の手話コーラスでは、「ありがとうのうた(V6)」の手話を詳しく解説して会場のみならず一緒に手話でコーラスします。

天白区社会福祉協議会からのお知らせ

平成17年度 福祉団体活動経費助成のご案内

地域に根ざした活動を行っている福祉団体を支援するため、その活動経費を助成します。

【助成対象】…… 次のいずれにも該当する活動

- 福祉を目的とした活動 ●天白区内を中心とした活動 ●営利を目的としない活動

【助成対象経費】平成17年度の活動にかかる、備品費や会場費、講師謝礼などの経費
※人件費などの団体運営にかかる経費は対象となりません。

【助成金額】…… 1団体上限5万円 ※今年度は選考により2団体に助成を行う予定です。

【申込方法】…… テラシ(区役所、コミュニティセンターなどへ配置)の中の申込書に必要事項をご記入のうえ、天白区社会福祉協議会まで郵送または直接お持ちください。6月20日(月)必着。

善意の輪

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。

(平成17年2月1日から4月30日受付分 受付順)

- 浅井 初音 様
- 奥村 文子 様
- 匿名希望 2件

ばわわの読者の声

- 4号「ここはどこ?」の写真で我が家は盛り上がりました。私は「八事遊園地」といっても、ポート池があったらいい事しか知りませんでした。が、姑は、すべり台や花見時のにぎわいを覚えていて、ひとしきり話に花が咲きました。
◇景色は変わってしまっても、思い出は残りますよね。「ばわわ」では、天白区の風景を写した昔の写真を募集しています。こんなところがあったよ、という写真をぜひ、お寄せ下さい。
- 4号「保育園えらび顛末記」にひとこと。働いていなくても保育園に簡単に入れたなんて、信じられません。私も子どもを保育園に入れたかったのですが、どこもいっぱい、求職中の人なんてぜんぜん入れませんでした。天白区は待機児童がとても多く、保育園に入るのが大変なんです。その辺りのことを知っていただきたいです。
◇区内でも地域によって差はあるようですが、保育園に入れなくて困っている状況があるという声を、天白区役所児童係にお伝えしました。みなさんの状況をこれからも「ばわわ」にお知らせ下さい。随時、記事等で取り上げて行きたいと思えます。
- 「ばわわ」は、区民や施設職員など、編集委員のみならず一緒に作っています。編集委員にはどなたでも参加できます。みなさんも一緒に、天白の元気な情報を集めて「ばわわ」を作ってみませんか? 次号の発行予定日は9月7日(木)です。